

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE 広島 2016年版

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

欄に数値またはコメントを記入

広島大学(東千田)校舎新築その他工事

配慮項目	評価点	重み係数	内訳										
■1.「地球温暖化対策」の推進													
1.1 建物の熱負荷抑制													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 開口部にはLow-E複層ガラス、外壁には吹付断熱材(t=40)とし、熱負荷低減に配慮した。	4.0	0.26	Q1 室内環境	2 温熱環境	2.1 室温制御	2 外皮性能							
	5.0	0.74	LR1 エネルギー	1 建物外皮の熱負荷抑制									
小計		4.7	0.14										
1.2 自然エネルギーの利用													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	1.00	LR1 エネルギー	2 自然エネルギー利用									
小計		3.0	0.05										
1.3 設備システムの高効率化													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	4.7	1.00	LR1 エネルギー	3 設備システムの高効率化									
小計		4.7	0.26										
1.4 設備システムの効率的運用													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	0.0	0.00	LR1 エネルギー	4 効率的運用		集合住宅以外の評価	4.1 モニタリング						
	2.0	1.00	LR1 エネルギー	4 効率的運用		集合住宅以外の評価	4.2 運用管理体制						
	3.0	0.00	LR1 エネルギー	4 効率的運用		集合住宅の評価	4.1 モニタリング						
	3.0	0.00	LR1 エネルギー	4 効率的運用		集合住宅の評価	4.2 運用管理体制						
小計		2.0	0.10										
1.5 資源・マテリアル対策													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 躯体と仕上げが分別可能な計画としている (躯体+軽量鉄骨下地+ボード等内装材)	4.0	0.10	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.1 節水								
	3.0	0.11	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	1 雨水利用システム導入の有無							
	3.0	0.05	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	2 雜排水等利用システム導入の有無							
	3.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.1 材料使用量の削減								
	3.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.2 既存建築躯体等の継続使用								
	3.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用								
	5.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用								
	5.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.5 持続可能な森林から産出された木材								
	3.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み								
小計		3.6	0.31										
1.6 ライフサイクルCO2排出率													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 分別が容易な計画(躯体+軽量鉄骨下地+ボード等内装材)	4.0	1.00	LR3 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮									
小計		4.0	0.13										
1.「地球温暖化対策」の推進の評価													
■2.「ヒートアイランド対策」の推進													
2.1 湿熱環境の向上													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	2.0	0.49	Q3 室外環境(敷地内)	1 生物環境の保全と創出									
	2.0	0.24	Q3 室外環境(敷地内)	3 地域性・アメニティへの配慮	3.2 敷地内湿熱環境の向上								
	2.0	0.27	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.2 湿熱環境悪化の改善								
	小計	2.0	0.97										
2.2 交通負荷抑制													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	1.00	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制	3 交通負荷抑制							
小計		3.0	0.03										
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価													
■3.「長寿命化対策」の推進													
3.1 耐用性の向上													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 構造は重要度係数1.25として、耐震性を高めている。	4.0	0.50	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 耐震・免震・制震・制振	1 耐震性(建物のこわれにくさ)							
	3.0	0.13	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 耐震・免震・制震・制振	2 免震・制震・制振性能							
	3.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	1 躯体材料の耐用年数							
	3.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔							
	3.0	0.04	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔							
	3.0	0.04	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	4 空調換気ダクトの更新必要間隔							
	4.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	5 空調・給排水配管の更新必要間隔							
	3.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	6 主要設備機器の更新必要間隔							
	小計	3.6	0.67										
3.2 設備の更新性													
(コメント) ※設計の計画上特段に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性							
	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	2 給排水管の更新性							
	3.0	0.10	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	3 電気配線の更新性							
	3.0	0.10	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	4 通信配線の更新性							
	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	5 設備機器の更新性							
	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	6 バックアップスペースの確保							
	小計	3.0	0.33										
3.「長寿命化対策」の推進の評価													
■重点項目の総平均(上記3項目)		3.5											